

明治薬科大学 研究データ管理・公開ポリシー

明治薬科大学（以下「本学」という。）は、建学の精神「薬学の普及と社会に有用な薬剤師を養成し、医薬分業を実施し、もって国民の保健衛生へ貢献する」に則り、薬学領域の教育及び研究を行い、有能有為の薬剤師及び研究者を育成するとともに、優れた研究成果を産み出すことにより薬学の進展に寄与し、広く社会に貢献してきた。

本学の研究活動の過程で産み出される研究成果を適切に保存、管理し、その公開等を通じて利活用を図り社会に還元することで、本学の理念を具現化することを目的として、本学における研究データの管理及び公開に関する基本方針を定める。

1. 研究データの定義

本ポリシーにおいて「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集又は生成された情報をいう。

2. 研究者の定義

本ポリシーにおける「研究者」とは、本学の教職員、学生、受入研究員など、本学における研究に携わる全ての者のことをいう。

3. 研究データの管理及び責務

本学は、原則として、研究データを収集又は生成した研究者がその研究データの管理を行う権利と責務を有していることを認める。

研究者は、研究データの管理を行うにあたって、法令、契約等及び本学の規程その他の規則を遵守し、各研究分野における倫理的要件を尊重するとともに、研究インテグリティの確保に努める。

4. 研究データの利活用と公開

研究者は、研究分野の特性等を考慮し、法的及び倫理的要件等に従って、研究データの利活用を促進するとともに、可能な限り自らの判断に基づいて公開する。

5. 本学の責務

本学は、研究データの管理及び利活用又は公開を支援するために、必要な環境の整備を推進する。

6. 免責事項

本学は、本学研究者が公開するデータの品質確保のために必要な支援を行うものの、公開されたデータの利用に関して生じる一切の損害について、本学及び本学研究者は責任を負わない。

7. その他

本ポリシーは、法令、社会や学術環境、大学を取り巻く状況等の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。